

「標的型攻撃メール予防訓練サービス」申込／実施における注意事項

(メール予防訓練申込時の注意事項：サービス編)

1. ご利用条件

- (1) 訓練の実施にあたっては以下の点をご確認・ご了承いただいた上、訓練参加者メールリストを提出願います。(お申込ページよりご入力ください。)
- (2) 本訓練はユーザ協会会員を対象に年1回無料(※)にてご提供いたします。会員登録がされていない方は各支部(0120-20-6660)にご連絡いただき登録の手続きをお済ませください。

※訓練参加者は10名(10メールアドレス)までとなります。

2. 訓練の実施について

- (1) いただいたメールリストの記入に一部不備がある場合、正常に記入されたメールアドレスのみで訓練を実施させていただきます。
- (2) 「訓練実施予定日」は、訓練実施の概ね1週間前に登録いただいた責任者メールアドレス宛ご案内致します。
- (3) 「訓練メール」は全訓練参加者メールアドレス宛にお送りします。あわせて「訓練メール送信完了メール」は責任者メールアドレス宛にお送りします。
- (4) 「訓練メール」の「開封監視」を実施します。監視は概ね翌日までですが、前後する場合もございます
- (5) 「教育コンテンツのURL」は監視終了日の翌日以降、全訓練参加者宛にメールにてご案内します。受講期間は概ね1週間です。
- (6) 訓練の実施結果等は登録いただいたご住所宛に郵送(普通郵便)にてお送りします(メールによるご提供、または持参させていただく場合もあります)

3. ホワイトリストの登録について

- (1) お使いのサーバ機器類、メールプロバイダ、メールソフト等の設定によって、訓練メールが自動的に「迷惑メール」とみなされて、訓練対象者に届かない場合があります。
- (2) 上記を極力防止するため、訓練日までにメールシステムへ「ホワイトリスト」をご登録ください。詳細は別添の手順書(※)でご確認ください。(ホワイトリストをご登録いただくことで、訓練メールを「迷惑メール」とは認識しなくなります。)

※https://www.jtua.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/11/whitelistsetup_20221109.pdf

- (3) 併せて、サーバ機器類やウイルス対策ソフト等の設定をご確認ください。

(メール予防訓練実施時の注意事項：技術編)

1. 長期休暇、出張等でメールを開封していない方は「未開封」にカウントされます。

2. 以下の要件により、メール訓練に関して正確な測定結果が得られない可能性がありますので予めご承知下さい。
 - ①開封ログが記録できない
 - ・添付ファイル（Word）開封時、Officeのバージョンや設定等の条件により「保護ビュー」の状態になる場合があります。
 - ・その場合は、「編集を有効にする」ボタンをクリックして保護ビューを解除していただかないと、添付ファイルを開封したログが記録できません。
 - ・URLフィルタリング等により、ホワイトリストへ登録したURL（ドメイン）以外のアクセスに制限がされている場合は、開封したログが記録できません。
 - ②迷惑メールフォルダに振り分けられる
 - ・迷惑メール（スパムメール）対策機能をご利用の場合、お客様の設定条件によって、訓練メールが迷惑メールとして振り分けられる場合があります。
 - ・クラウドやISPのメールサービスをご利用の場合、サービス提供事業者側のシステム要件等によって、訓練メールが迷惑メールとして振り分けられる場合があります。
 - ③未開封にも関わらず開封ログが記録される
 - ・標的型攻撃対策としてサンドボックス機能（製品）を導入されている場合、サンドボックスによるチェックが行われた段階で、訓練メールの添付ファイル開封、またはURLへのアクセスログが記録される可能性があります。
 - ④その他
 - ・上記以外にも、お客様個々のネットワークやシステムの利用環境によって、訓練メールが受信できない、開封ログが記録できない場合があります。

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
標的型攻撃メール予防訓練サービス受付担当

以上